

QWSアカデミアスペシャル

エネルギー安全保障の観点から見た 水素社会の有用性を探る

(東京都市大学 水素社会研究会 特別セミナー)

2026年2月に勃発した米イスラエル・イラン戦争により、エネルギー安全保障の重要性が再認識されている。我が国はエネルギー資源の大半を輸入に頼っており、有事の際には石油備蓄等の限られた手段しか講じられない。一方、水素は海水からも製造可能であり、海洋国家である我が国にとって原料面の制約が小さい。この点でも、有事を見据えたエネルギーとして期待されている。

我が国では、2024年10月に施行された「水素社会推進法」により、2050年カーボンニュートラル達成に向けた取り組みが本格化している。その大きな課題が、水素の供給コストの高さである。政府は、需要拡大によるスケールメリットと価格差支援制度等を通じ、2050年までに水素供給コストを低減することを目指している。しかし、現状との大きな価格差を埋めるのは容易ではない。そこで視点をエネルギー安全保障まで広げると、日本の国家的戦略として水素社会を実現することが、総合的に見れば合理性を持つ可能性がある。本セミナーでは、この可能性について探ることを目的とする。

参加費
無料

Date 2026年 11月24日 火
18:00 ~ 21:00 (開場 17:30)

Place SHIBUYA QWS
スクランブルホール

東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号
渋谷スクランブルスクエア(東棟)15階
渋谷駅直結

お申込み | お問合せ

右記QRコードあるいは下記URLから
必要事項をご記入の上、お申し込みく
ださい(定員:先着150名)。

<https://peatix.com/event/5207741>



北村 滋

元国家安全保障局長
北村エコノミックセキュリティ
合同会社CEO



笹津 浩司

電源開発株式会社
エグゼクティブ・シニアフェロー



JOSH GRIFFITHS

オーストラリア大使館
二等書記官



野城 智也

東京都市大学 学長



QWSアカデミアスペシャル（東京都市大学）プログラム

趣旨説明

登壇者：
宇都 正哲（東京都市大学 都市生活学部長）

基調講演 ①

我が国のエネルギー安全保障の現状と水素社会の可能性

登壇者：
北村 滋（元国家安全保障局長、北村エコノミックセキュリティ合同会社CEO）

基調講演 ②

低・脱炭素社会における水素の役割～地産地消水素モデル～

登壇者：
笹津 浩司（電源開発株式会社 エグゼクティブ・シニアフェロー）

パネルディスカッション

水素社会とエネルギー安全保障

パネリスト：
北村 滋（元国家安全保障局長、北村エコノミックセキュリティ合同会社CEO）
笹津 浩司（電源開発株式会社 エグゼクティブ・シニアフェロー）
Josh Griffiths（オーストラリア大使館 二等書記官）
モデレーター：
野城 智也（東京都市大学 学長）

※ 終了後（20:00～）、登壇者等を交えた交流会（軽食あり）を実施いたします。是非ご参加ください。

登壇者・パネリスト・モデレーター 略歴

氏 名	略 歴
北村 滋	1956年生まれ。1980年、警察庁入庁。安倍晋三内閣総理大臣秘書官、警備局外事情報部長、内閣情報官、国家安全保障局長・内閣特別顧問を歴任。2021年退官後、北村エコノミックセキュリティ合同会社代表。米国政府から国防総省特別功労賞、豪州政府から豪州情報功労章、仏国政府からレジオン・ドヌール勲章オフィシエを受章、台湾政府から大綬景星勲章を受章。
笹津 浩司	広島県生まれ。1986年、筑波大学大学院環境科学研究科卒。電源開発入社後、火力発電の効率化・環境負荷の低減を中心とした技術開発に携わり、若松研究所長、磯子火力発電所長、技術開発部長、執行役員技術開発部長、取締役常務執行役員を経て、2023年4月に取締役副社長執行役員に就任。2026年6月より現職。2001年9月、九州大学にて博士（工学）学位取得。
Josh Griffiths	オーストラリア国立大学（ANU）卒業。経済学学士およびアジア太平洋学学士を取得。オーストラリア外務貿易省（DFAT）入省後、中国経済課、ASEAN・地域戦略課に勤務。在ベトナム・オーストラリア大使館、在上海オーストラリア総領事館でも勤務。米国・英国・カナダ課では、2023年に発足した「気候・重要鉱物・クリーンエネルギー変革コンパクト（Climate, Critical Minerals and Clean Energy Transformation Compact）」の調整を担当。2026年2月より在日オーストラリア大使館二等書記官（貿易・経済担当）。気候変動・クリーンエネルギー、マクロ経済政策分析、日豪間の双方向投資を担当。
野城 智也	東京大学 工学部 建築学科卒業後、同工学系研究科 博士課程修了（工学博士）。建設省 建築研究所 主任研究員を経て、1991年武蔵工業大学（2009年より東京都市大学）工学部 建築学科 助教授に着任。1998年東京大学 大学院 工学系研究科 助教授に着任。同生産技術研究所 教授・所長、東京大学 副学長、同価値創造デザイン人材育成研究機構 機構長 等を経て、2024年1月より東京都市大学 学長。